

高校教員を対象とした情報教育講習会

古井 陽之助
Younosuke FURUI

九州産業大学 情報科学部 情報科学科
Faculty of Information Science, Kyushu Sangyo University
<http://www.is.kyusan-u.ac.jp/~furui/>

1. はじめに

平成 25 年度の夏季休業期間中に開催された「高校教員を対象とした情報教育講習会」について報告する。

この講習会の第 1 回が開催されたのは、本学に情報科学部が創設された平成 14 年度である。平成 21 年度までは情報科学部が総合情報基盤センターと共同で開催する形をとっていたが、平成 22 年度からは総合情報基盤センターの主催となっている。また、平成 15 年度の第 2 回から毎回、福岡県教育委員会および福岡市教育委員会の後援を得ている。

講習会の名称は、平成 20 年度まで「高等学校教師を対象とした情報技術(IT)講習会」であったが、単に情報技術を教えるだけでなく高等学校における情報教育を支援するという趣旨を明確にするため、平成 21 年度の開催時に「高等学校教師を対象とした情報教育講習会」という名称に改められた。さらに平成 25 年度には、「高等学校教師」という部分が「高校教員」に改められた。ただし、名称の前に付す回数は、平成 14 年度からの通算で数えたものである。

開催期間は、平成 14 年度の第 1 回のみ 10 月の 3 連休であり、平成 15 年度から平成 21 年度までは夏季休業中の 3 日間であった。平成 22 年度からは講義内容を絞り込むことにより 2 日間に短縮されている。

コースの編成は、平成 16 年度までは主に情報教育に関わる 2~3 コースであった。平成 17 年度に情報教育とシステム管理の 2 コース体制になった。例年、各コースは開催期間中に並列に実施される。

2. 開催概要

今回の開催期間は 8 月 19 日および 20 日であった。各コースの概要を表 1 に示す。情報科学部からは 6 名の教員が講師として参加し、講義時間の半分を担当した。

2・1 情報教育コース

情報教育コースの講義題目としては、平成 24 年度と同様に「著作権と個人情報の保護」、「簡単かつ手軽な画像の活用」、「フリーソフトの入手と活用」が取り上げられた。一方、「ウェブによる情報公開の仕組み」は、平成 23 年度までの「ウェブページの作成と公開」を、担当者やコマ数の調整の上で復活させたものである。また、「イ

ンターネット情報の検索と分析」、「ワンランク上のプレゼンテーションの方法」、「模擬講義: 人間の情報処理の複雑さを知ろう」は今回初めて取り入れられた。このうち、「模擬講義: 人間の情報処理の複雑さを知ろう」はもともとは高校生向けの模擬講義として情報科学部の模擬講義メニュー^{*1}にあるものを高校教員向けに実施したものである。

2・2 情報システム管理コース

情報システム管理コースは、平成 23 年度までは名称を「ネットワーク・サーバ管理コース」としていたが、情報システムの管理についてもっと基本的な話題から実例の紹介までを扱うという観点から、平成 24 年度に現在の名称に改められた。

情報システム管理コースの講義題目としては、平成 24 年度と同様に「ネットワークの基礎」、「Linux 管理の初歩」、「セキュリティ管理」が取り上げられた。また、平成 24 年度からの試みとして、本学内システムの運用等を取り扱う企業の担当者に講義をお願いしており、今回の講義題目の中では「パブリッククラウド基礎」がこれにあたる。

2・3 開会式、意見交換会、閉会式

初日の講義の前には、2 コースの参加者全員が一堂に会しての開会式および意見交換会が開催された。また、最終日の講義終了後には閉会式が行われ、受講者には修了証が手渡された。

なお、平成 22 年度までは、意見交換会は最終日の講義終了後に行われており、これが閉会式を兼ねていた。しかし、講義に先立って受講者と講師が少しでも親睦を深めて話しやすい雰囲気を作っておくほうがよいという理由から、平成 23 年度に現在の形に変更された。

3. 受講者数

今回の情報教育コースの参加者数は 21 人(18 校)であり、平成 24 年度の 14 人(12 校)からの 7 人増であった。この 21 人のうち、過去に本講習会のいずれかのコースに参加したことがあるのは 6 人であった。また、過去

*1 九州産業大学情報科学部 模擬講義テーマ一覧
<http://www.is.kyusan-u.ac.jp/mocklectures.html>

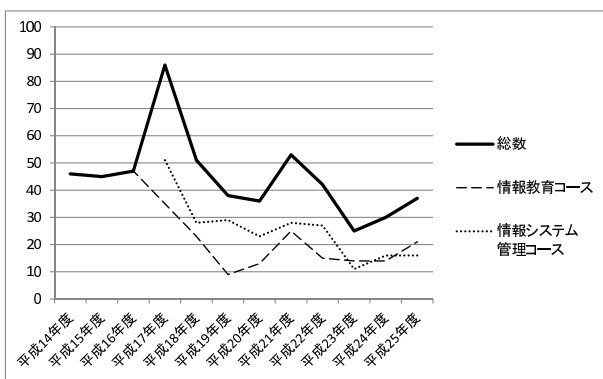


図1 受講者数の推移 (単位は人)

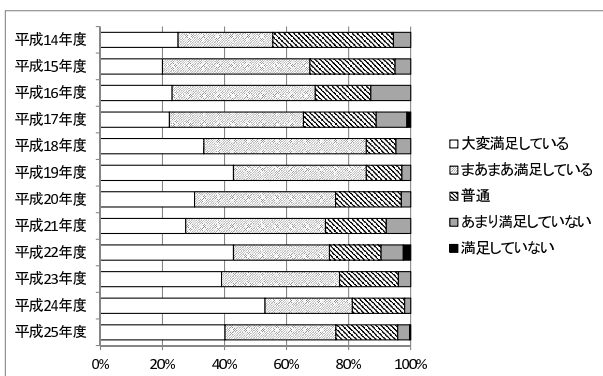


図2 アンケート結果 (満足度)

2回(平成23年度・同24年度)において情報教育コースに参加したことがあるのは5人であった。

一方、情報システム管理コースの参加者数では16人(15校)であり、平成24年度の17人(17校)からの微減であった。この16人のうち、過去に本講習会のいずれかのコースに参加したことがあるのは6人であった。また、過去2回において情報システム管理コースないし前身のネットワーク・サーバ管理コースに参加したことがあるのは2人であった。

平成14年度以来のコース別および全体の受講者数の推移を図1にグラフとして示す。なお、前述の通り平成16年度までは主に情報教育に関わる2~3コースを実施していたので、その受講者数は全て情報教育コースのものとして数え、情報システム管理コースについては平成17年度からの推移を示している。

受講者の総数のピークは平成17年度であり、それ以降は増減を繰り返しながらも全体としては緩やかな減少傾向にあった。近年について言えば、平成23年度にいったん底を打ったあと、平成24年度および今回は2年連続の増加となったが、平成22年度の受講者数にはまだ及ばない。受講者数の増加が難しいことの原因としては、開催期間が高等学校の授業開始時期ないしその他の行事と重なること(平成22年度に開催期間が2日間に短縮されたのはこの点を意識してのことでもある)などがある

と推測される。

受講者数の確保は、主催する総合情報基盤センターにとっても情報科学部にとっても、近年における懸案事項の一つである。そこで、講義題目やその担当教員を固定化させず、実施可能な講義題目を増やすとともに講義内容の質の向上を図ること、年度ごとに講義題目を一部入れ替えてリピーターの期待に応えること、学生アシスタントには事前に指示書を渡して受講者の支援をよりスムーズに実施できるようにすることなどの施策を行っている。

4. アンケート調査

総合情報基盤センターでは、講習会受講者を対象に、講習会終了時にアンケート調査を実施している。このアンケート結果に基づき、平成14年度からの年度ごとの満足度を図2にグラフとして示す。

過去の実績を見ると、「大変満足している」と「まあまあ満足している」を合わせた割合は、平成18年度および平成19年度がピークである。その後いったん低下したが、平成22年度から再び上昇に転じ、前回の平成24年度にはピーク時に遜色ない水準にまで回復した。また、「大変満足している」のみに着目すれば、平成24年度には過去最高の水準を達成した。

これに対し今回は、「大変満足している」と「まあまあ満足している」を合わせた割合も、「大変満足している」のみの割合も、前々回の平成23年度と同水準に後退した。満足度の向上に一層の努力が必要である。

5. おわりに

今回、受講者数は依然として多くはないが2年連続の増加となった。また、受講者の満足度は、過去最高に近い水準の前回からは若干の低下があるものの、比較的高い水準を保つことができた。

今後の課題としては、もっと多くの人々に受講してもらうために、高等学校の教員にとどまらない範囲の人々を対象にすることや、そうした対象者にしっかりと届く告知方法を工夫することなどが挙げられる。満足度を一定の水準に保つために、講義内容の質をさらに向上させ、講義で扱う話題を増やすなど、受講者の期待に応える努力を重ねていくことも必要である。特に情報システム管理コースを担当する教員の負荷が高いこともかねてより指摘されているので、コース編成の見直しや、さらに多くの教員の協力が必要である。

表 1 平成 25 年度 第 12 回高校教員を対象とした情報教育講習会 講義内容一覧

情報教育コース		講師	講義内容	
8/19	10:00-11:00	開会式・意見交換会	担当講師全員	開会式後に、講師・参加者の自己紹介や意見交換等を行ないます。
	11:10-12:10	① 著作権と個人情報の保護について	情報科学部 宮崎 明雄 教授	著作権と個人情報の保護、著作物や個人情報の利用等について情報化の進展に対応するための施策や技術を紹介しします。
	13:00-14:00	② ウェブによる情報公開の仕組み	情報科学部 内林 俊洋 助手	個人から企業まで情報公開をするために使われるウェブの仕組みを基本から説明しします。
	14:10-15:10	③ インターネット情報の検索と分析(1)	経営学部 菅野 禎盛 准教授	インターネット上には様々な情報が存在していますが、これらの情報は信頼性が検証されたものとは言えません。ここでは、ネットワーク情報の信頼性を検討するとともに、その情報の検索・利用について考えます。
	15:20-16:20	④ インターネット情報の検索と分析(2)		また、インターネット上に存在している膨大な情報の中から目的に合った情報を探し出すための検索エンジンの上手な使い方についても具体例を挙げながら実習しします。
8/20	10:00-11:00	⑤ ワンランク上のプレゼンテーションの方法	芸術学部 佐野 彰 准教授	いつものプレゼンテーションを、さらにわかりやすく魅力的なものにする方法について説明しします。
	11:10-12:10	⑥ 簡単かつ手軽な画像の活用		ちょっとした映像の加工を行うことで、ビジュアル的な訴求力はアップしします。 無料サービスなどを活用した効率的な画像加工の方法を紹介しします。
	13:00-14:00	⑦ フリーソフトの入手と活用(1)	情報科学部 古井 陽之助 准教授	データの暗号化とバックアップ、プレゼンテーション資料作成支援、プレゼンテーション支援などに役立つフリーソフトを、実習を交えながら紹介しします。
	14:10-15:10	⑧ フリーソフトの入手と活用(2)		
	15:20-16:20	⑨ 模擬講義：人間の情報処理の複雑さを知ろう	情報科学部 一ノ瀬 裕 教授	人間の情報処理がコンピュータに比べてはるかに複雑なことを、錯視や音の聴き分けを通して実感してもらいます。
	16:20-	閉会式		閉会式で修了証書をお渡ししします。

情報システム管理コース		講師	講義内容	
8/19	10:00-11:00	開会式・意見交換会	担当講師全員	開会式後に、講師・参加者の自己紹介や意見交換等を行ないます。
	11:10-12:10	① ネットワークの基礎(1)	情報科学部 神屋 郁子 助手	インターネットの基礎技術である TCP/IP の基礎について IP アドレス、サブネット、ルーティング、主要なプロトコルについて解説すると共に、Windows マシンを用いて、実習を行います。
	13:00-14:00	② ネットワークの基礎(2)		
	14:10-15:10	③ パブリッククラウド基礎(1)	SCSK(株)	パブリッククラウドの基礎について説明し、Amazon のクラウドサービス(AWS)、PrimeCloudController を使った実習を行います。
	15:20-16:20	④ パブリッククラウド基礎(2)		
8/20	10:00-11:00	⑤ Linux 管理の初歩(1)	情報科学部 下川 俊彦 教授	Linux 初心者を対象に、Linux サーバを管理する初歩的な知識について説明しします。 HTTP サーバを構築する実習を行います。
	11:10-12:10	⑥ Linux 管理の初歩(2)		
	13:00-14:00	⑦ セキュリティ管理(1)	経営学部 福田 馨 教授	ネットワーク利用や個人情報保護の脅威となるウィルス、ワーム、Winny、フィッシング詐欺などの問題点とその対策、安全な利用に必要な仕組み、機能、機器構成などについて解説するとともに、ネットの危険性、信頼性について解説しします。
	14:10-15:10	⑧ セキュリティ管理(2)		
	15:20-16:20	⑨ セキュリティ管理(3)		
	16:20-	閉会式		閉会式で修了証書をお渡ししします。